



2005年日本国際博覧会 米国政府代表

リサ・ギラマン・ゲートル



2004年8月、リサ・ギラマン・ゲートル氏は、ジョージ・W・ブッシュ大統領より、21世紀最初の万博である2005年日本国際博覧会（略称：愛知万博、愛称：愛・地球博）の米国政府代表に任命されました。ゲートル氏は、2005年3月25日より9月25日までの万博開催期間中、米国大使の称号を与えられています。

ゲートル氏は、これまでに世界的なブランド管理から科学技術振興、資金調達、慈善活動、政治戦略策定などにおける統括責任者としての幅広い経験を備えています。具体的には学校教育・医療保険・企業家育成のシンクタンク、パシフィック・リサーチ・インスティテュート（サンフランシスコ）の理事長をはじめ、ホワイトハウス・フェローシップの大統領委員会理事、「フォーチュン 500」に名を連ねる優良企業に対しブランド管理コンサルティングを行う米国ギラマン・グループの共同設立者兼会長などを務めたほか、米国国防総省の「女性軍人による国防政策諮問委員会（Defense Advisory Committee on Women in the Services）」の副委員長および戦略・広報部の責任者、Intel社のグローバル・コーポレート・アイデンティティ・マネージャなどの経験を持っています。また、カリフォルニア州と地元バージニア州では様々な慈善活動や政治活動にも取り組んでいます。

ゲートル氏は、バージニア大学で国際関係学の学士号を、ジョージタウン大学の国家安全保障学の修士号をそれぞれ取得しています。

ゲートル氏は、バージニア州アッパービルに、夫であるジェームズ・ゲートル氏、および娘さんと共に暮らしており、万博開催中は一家で名古屋に滞在します。